

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 19 日 (19 : 00~20 : 00)
1 ~ 9 すべて上記時間で実施

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 梶谷 榊 小牟禮 富山 安河内 吉武 原田
(欠席 村田 後藤 北川)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	4 人	1 人	人	7 人

前回の改善計画

- ・連絡ノートや申し送り確認を確実にこなすようにする。
- ・連絡ノート、イントラ、申し送りチェックは勤務前に間を通すようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・連絡ノートは本年度途中で廃止。代わりにほのぼのシステム、イントラの活用にて各職員への情報提供を行なっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	4	1		7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	4	2		7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	1	5	1		7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		5	2		7

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

イントラ、ほのぼのを活用し情報の共有は出来ている。また、昼礼時や月 1 回のミーティング時を通して情報の伝達、交換が出来ている。利用者・ご家族に対して現状や抱えている不安・問題点を聞き取り必要な支援を行なう事が出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

新規利用者が急な場合には事前情報の把握、伝達が不十分な時がある。また、細かい気づきについてその場にいた職員のみで話し合い記録に残せていない現状がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

業務前に情報を見る事を今一度全職員に周知し、ほのぼのシステム、イントラの活用を徹底する。情報を見ないと分からない事も多々ある (送迎時間の変更等) 為、そのリスクも説明し理解してもらう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 19 日 (19 : 00～20 : 00)
1～9 すべて上記時間で実施

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 梶谷 榊 小牟禮 富山 安河内 吉武 原田
(欠席 村田 後藤 北川)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5 人	2 人	人	7 人

前回の改善計画
・ケアの統一の為に、申し送り等にはしっかりと目を通し情報共有を行なう。利用者との会話にはオープンクエスチョン等、意向を汲み取る技法を用いて、自発的な発言を増やしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ほのぼのシステム・イントラの活用にて情報の共有化に努める。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		5	2		7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	1		7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		2	5		7
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	2		7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	月に 1 回のケアカンファレンスや昼礼時に話し合い、利用者の意向を確認し、その事に対して今後どのような対応をするのか話し合っている。また「担当者会議」にて利用者・家族の意向を汲み取っている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	目標が把握出来ている職員・不十分な職員がいたり、ケアの統一が不十分な時がある。個人ファイルを読む機会やコミュニケーションを取るも汲み取れない事があるが、職員同士で声を掛け合い時間を作ったり、声掛け等に工夫する必要がある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	月 1 回の職員会議では、利用者ケース検討会を実施する。また、初めて聞いた話し等があれば「気づき」の記録を残していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 19 日 (19 : 00～20 : 00)
1～9 すべて上記時間で実施

3. 日常生活の支援

メンバー 梶谷 榊 小牟禮 富山 安河内 吉武 原田
(欠席 村田 後藤 北川)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6 人	1 人	人	7 人

前回の改善計画	・出勤後、業務開始までに連絡ノートの確認、申し送り事項の確認を全員が出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・申し送りの確認をしている人としていない人と 2 極化している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		1	4	2	7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	6			7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5	2		7
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	2	4		7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		6	1		7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること イントラ上の連絡ノートに変更し申し送りが以前に比べスムーズになっている。同時に申し送りに対して職員同士で返答し合う事で理解し行動できている。その日に関して重要事項についても昼礼時に申し送りを行っている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 連絡ノートや申し送りは見ているが、実際には「している」「していない」職員に分かれている。「していない職員」に関しては吸い上げが見られない為、一から口頭で説明する必要がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 「通り」送迎時、利用者の様子等や家族からの情報を記録に残す。事業所内で何か変化が見られた際には、必ず家族に伝達し、伝達した事を記録に残す。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 19 日 (19 : 00 ~ 20 : 00)
1 ~ 9 すべて上記時間で実施

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 梶谷 榊 小牟禮 富山 安河内 吉武 原田
(欠席 村田 後藤 北川)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1 人	4 人	2 人	7 人

前回の改善計画
・地域資源について勉強会を計画し、職員全員の意識を高めて行きたい。

前回の改善計画に対する取組み結果
・各種勉強会の情報収集はもとより、勉強会への参加は前年度よりも出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		1	5	1	7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4	2	1	7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	4		7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			3	4	7

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
月に 2 回 1 人の方に傾聴ボランティア、月に 1 回他部署の民生委員の方に紙芝居をしに来て頂いている。また、小規模ネットワークやグループ内の勉強会にて情報収集を行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
研修に参加しても伝達講習の不備にて「参加した職員のみ知識」になっている。研修受講後 1 ヶ月以内に伝達講習を行なう必要がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
勉強会に参加した職員からの伝達講習を (勉強会参加から) 遅くとも 1 ヶ月以内に実施する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29年 10月 19日 (19:00~20:00)
1~9すべて上記時間で実施

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 梶谷 榊 小牟禮 富山 安河内 吉武 原田
(欠席 村田 後藤 北川)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3人	3人	1人	7人

前回の改善計画
・日頃のケース記録の充実から、情報共有をしっかりと行ない、利用者にあった地域資源を話し合っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・ケース記録で食事の提供、服薬、レクリエーションの参加等の記載を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3	3	1	7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	4	1		7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	6			7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		4	3		7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケース記録について充実しつつあるも足りない時もある為、今後も継続していく必要がある。情報の共有はできている。必要時には受診同行を行なう事で情報収集、また在宅のサービスや地域支援事業の説明や導入もできている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源が何なのかについて理解、活用方法について理解できていない。地域資源について理解する為の勉強会が必要。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
日頃のケース記録を充実させる。
地域資源について勉強会を行ない、話し合っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 19 日 (19 : 00～20 : 00)
1～9 すべて上記時間で実施

6. 連携・協働

メンバー 梶谷 榊 小牟禮 富山 安河内 吉武 原田
(欠席 村田 後藤 北川)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	3人	3人	7人

前回の改善計画
・年度末にしっかりと計画をたてて、地域の行事に参加、または事業所に高齢者や子供等が訪れることが出来る案内をしていきたい。

前回の改善計画に対する取組み結果
・年1回の行政区集会の参加はもちろん、地域住民との挨拶の徹底ができています。地域の中学校からの職場体験学習も受け入れており、地域交流の構築はできています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	4	1	1	7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		4	1	2	7
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		1	4	2	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	2	4	7

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の行事に参加できる時には参加できている。また、行事の際にバンドの方がボランティアで来て頂き交流は図られている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域住民との交流が少ない為、行事への案内状等気軽に来て頂ける工夫が必要。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
行事を事業所内で完結させない為に、行事の案内状を作成し地域住民の方にも知って頂く機会を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 19 日 (19 : 00～20 : 00)
1～9 すべて上記時間で実施

7. 運営

メンバー 梶谷 榊 小牟禮 富山 安河内 吉武 原田
(欠席 村田 後藤 北川)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	2 人	4 人	1 人	7 人

前回の改善計画
・年末頃に年間行事を把握して計画的に参加していく。また、区長や広報誌から行事情報を持って行く。

前回の改善計画に対する取組み結果
・古賀市の広報誌や広告にて情報を収集。地域での祭りや行事の情報を得て、はまぼう祭り等の行事に参加している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		3	4		7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	3		7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		3	3	1	7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2	2	3	7

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域の行事について案内が届き、参加出来る時には積極的に参加している。職員同士自分の意見を言い合える環境であり、利用者家族も送迎等に意見を言える環境である。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の行事に参加は出来ていても、事業所での地域との交流が出来ていない。交流の場が作れるような工夫が必要。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・広報誌こがの活用を継続し、行事を 2 か月前には把握し、参加していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 19 日 (19 : 00～20 : 00)
1～9 すべて上記時間で実施

8. 質を向上するための取組み

メンバー 梶谷 榊 小牟禮 富山 安河内 吉武 原田
(欠席 村田 後藤 北川)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	4 人	人	1 人	7 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内での研修計画に加え、自主的に研修に参加できるような環境を作る。具体的には研修案内等を準備して、職員がどのような研修があるか把握出来るようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 研修案内等は準備できており、把握できるようにしている。 各職員の資格や担当業務にともなう研修や講習会へ参加できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	4	1	1	7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		3	4		7
③	地域連絡会に参加していますか		5	2		7
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		3	4		7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 研修案内等は準備出来ている。その中から受講したいと希望があった場合には時間を作り受講して頂いている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 受講はしているものの、受講した者のみの知識になっている。事業所に戻ってから他職員に伝達を行なってもらう情報の共有を行なう必要がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) <ul style="list-style-type: none"> 研修に参加し、伝達講習を行ってもらう。 その他にも定期的に勉強会を作っていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 19 日 (19 : 00～20 : 00)
1～9 すべて上記時間で実施

9. 人権・プライバシー

メンバー 梶谷 榊 小牟禮 富山 安河内 吉武 原田
(欠席 村田 後藤 北川)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	1 人	5 人	人	7 人

前回の改善計画	・申し送りの時に、個人名を出す場合、イニシャル等本人に分からないようにする工夫が必要である。
前回の改善計画に対する取組み結果	・昼礼等で申し送りをする場合にどうしても大きな声になったり、イニシャルを用いてのプライバシーへの配慮が不十分である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	6	1			7
②	虐待は行われていない	6	1			7
③	プライバシーが守られている	2	4	1		7
④	必要な方に成年後見制度を活用している		1	1	5	7
⑤	適正な個人情報の管理ができている	1	4	2		7

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご利用者に関する個人情報に関係のない方には話していない。また、家族等に頂いた情報に関してもしっかり管理できている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 昼礼時に利用者の前で名前を出す際、通常の声量で話しをしてしまっている。また、持参された私物を机の上に出したままである。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ・職員の守秘義務、プライバシー配慮の徹底を行っていく。 ・損害賠償が発生した事例やトラブルの事例等について勉強会を行ない周知していく。
---------------	---